

エコパーク通信

御前崎エコクラブ会長
山本 貴美枝

平成29年2月号



オキザリス（桃色）



オキザリス（黄色）



フシチョウニシキ



クリスマスローズ



ニジノタマ



ヤブツバキ



ジンチョウゲ

エコパークに寄せて

森田 しづ江（エコパーク会員）

近年の世界においては、異常なまでの自然災害や難民の問題、また日本においては高齢化社会の問題等、平和で安全な世の中を願っておりますが、何故か反対方向に向かっているような気がするの私だけでしょうか。

さて、手づくり公園「日本一を目指すエコパーク」ですが、最初見た時は、うっそうとした雑木林に、「エー」と思いました。ところが会員の活動により雑木林は、日々変化していきました。手入れする中で、一番の悩みは草が生えてくる事です。草は根から取ること、また草止めには丈夫なビニールを敷くことなど7000坪の園内は、いろいろな工夫が施されています。これには、国内外でのエコクラブ会員の視察が、生かされているのがうかがえ知れます。これもひとえにボランティア精神あふれる方々のおかげだと感動、感謝しています。

今では、400種類の多種多様な花木に、蝶や鳥、人が立ち寄ってくれる見事な公園になりました。60数年に一度咲くと言われるリュウゼツランが毎年次から次へ咲くようになりました。このエコパークで、おいしい焼き芋をいただきながら、平和なひとときを感じております。

18年間も毎日のように通う、山本会長夫婦と会員の方が廃材等を再利用し、管理・整備された手づくり公園は素晴らしい所です。たくさんのお見学者が訪れ、沢山の人の憩いの場所となれますようお願いしております。